

# 十勝 Tokachi Shimizu 清水

最高のぜいたく、育てています。



Tokachi Shimizu

2025年2月号  
387号

## 目次

- 02. すこやかファミリー  
橋本さんファミリー  
国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム
- 03. 清水町ジュニアホルスタインクラブ体験学習会  
JA北海道女性大会・北海道家の光大会
- 04. JA女性部ミドル層研修会  
JA十勝地区女性協議会研修会
- 06. JA女性部フレミズ西部ブロック交流会／フレミズ  
交流集会／第1回冬期研修会&クリスマス会
- 08. JA女性部むらさき会第2回研修会
- 09. JA女性部むらさき会新年会／そよかぜの会新年会 他
- 10. JA青年部管外視察研修／第73回全道大会
- 11. JAそよかぜの会勉強会／ボランティア研修会
- 12. 第31回JA北海道大会
- 15. サツドラ地域連携企業『特別優待割引』



変身！シンカリオンこまち！

Agricultural Cooperative Association Magazine

自然と環境 人と人とのつながりを大切にしています。

 十勝清水町農業協同組合



1月7日、清水町ジュニアホルスタインクラブ（橋本和博会長）は、緑のめぐみ館（芽室町）で体験学習会としてアイスクリーム作りを行いました。子どもたちは、お父さん、お母さんに教えてもらいながら卵を黄身と白身に分けたり、トッピングのクッキーを砕いたり、イチゴを切ったりしました。フリーザーで冷やしたアイスクリームに、準備したイチゴやクッキーなどを混ぜ込み、40個のアイスクリームが完成しました。

最後にみんなでアイスを試食。自分の好きなトッピングをしたオリジナルアイスクリームの味は格別だったようです。

とき…1月7日  
ところ…緑のめぐみ館

## 清水町ジュニアホルスタインクラブ 体験学習会

11月7日から8日の2日間、札幌プリンスホテル国際館パミールにて、令和6年度JA北海道女性大会・北海道家の光大会が開催され、北海道全域の女性部員など約400名が集まりました。この大会は、全道の仲間との連携親睦、今後の組織活動の活性化を目的に開催されています。

1日目、家の光記事活用体験発表では各地区4名の発表がなされ、JA宗谷南女性部の大塚真央氏「私の心の支え」が最優秀賞を受賞しました。

講演では、北海道三笠高等学校 食物調理科 齋藤 高田 司氏から『料理を通して人を育てる』をテーマに、高校生レストランの運営により生徒にプロである自覚を持たせること、地域食材への理解と活用、地元農業者とのふれあいによるサステイナブル（持続可能）な地域づくり、子供に食に関心を持つ機会をあたえることなどについてお話しされました。参加者は、食育の大切さを痛感していました。

2日目は『農業ガールズコレクション』と題して、全32組が自慢の特産品や加工品、手芸品などをファッションショー形式で披露しました。STVアナウンサーの木村洋二氏、上田あや氏の司会で会場は盛り上がりました。当女性部は、JA十勝地区女性協議会の枠で出演し、当JAブランド『十勝若牛』を使用したカレーや『十勝清水にんにく』を使用した新商品『ガーリックチ』を手にモデルウォークを披露してきました。各組、仮装や紹介動画などで、工夫いっぱいの楽しい発表となりました。各地区の特色ある自慢の品にたくさんの拍手が送られ、2日間の大会が閉会しました。

とき…11月7～8日  
ところ…札幌プリンスホテル国際館パミール

## JA北海道女性大会・北海道家の光大会



## すこやかファミリー



上清水2  
橋本 清生 くん（2歳11ヶ月）

トミカやプラレール、新幹線、シンカリオンが大好きな清生くん！  
最近、道路標識や身近なマークがマイブームで家にあるマークの本を読んでいます。知っているマークを見つけると1つ1つ説明してくれるそうです。また、毎晩寝る前にパパとシンカリオンごっこで全力で戦って、お風呂に入った意味がないくらい汗をかいてから寝てしまうそうです。

子育てについて伺ったところ、「お話しが上手になってきて、最近は『なんでなんで』とんでも聞いてくるので返事に困ることもありますが、こんなに会話ができるようになったことがとても楽しく、嬉しいです。少しやんちゃすぎるところもあるけど、急に『ママ大好き！』『パパ大好き！』と伝えてくれる真っ直ぐな性格です。身の回りのことも段々できるようになり、『清生お兄ちゃんになったから！』と得意げにいうところは成長を感じています。でもまだまだ甘えん坊なところもあり、かわいいです。」と教えていただきました。

### ～お母さんからのメッセージ～

何をやるにも明るく面白い清生。  
毎日家族を笑顔にしてくれてありがとう。  
勝手に調子に乗ってしまったり、ケガには  
気をつけようね。  
清生がいてくれてとても幸せです。  
これから一緒に全力で遊ぼう！

- おとうさん 橋本 耀介 さん
- おかあさん 歩美 さん
- 祖父 晃明 さん
- 祖母 千子 さん

## 国内肥料資源の 利用拡大に向けた マッチングフォーラム

とき…12月4日  
ところ…アクセスサッポロ 大展示場

12月4日、アクセスサッポロ大展示場（札幌市）にて国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムが開催され、当JAは『しみず有機』の製造者としてブース出展しました。

このマッチングフォーラムには、畜産堆肥や下水汚泥等に関連する製造者や原料提供者、機械メーカーなど、全国から44社が集まりました。

当JAブースにも多くの方が訪れ、『しみず有機』の製造に関する内容から利用方法、札幌市近郊での取扱店舗など様々な質問をいただき、興味を持っていただくことができました。

また、プレゼン発表も行い、ブース来訪者だけでなく、一般の来場者にも『しみず有機』と土づくりの取組を紹介し、好評を得ました。

十勝 清水



# JA女性部 第2回ミドル層研修会

とき：11月14日  
ところ：本所 大会議室

JA女性部（西山幸子部長）は、11月14日に第2回ミドル層研修会『筆ペン講座』を行い、同会員15名が参加しました。

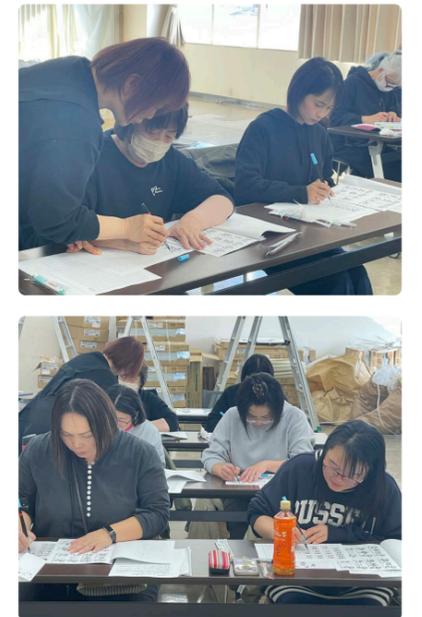
講師には、久野綾乃氏にお越しいただきました。最初に正しい姿勢と筆の持ち方から学び、運筆練習を行いました。「筆をにぎったのは小学生以来かも!」と口にする方もいました。

久しぶりに持つ筆ペンなので、漢字の概形をイメージして書く練習を行いました。なかなか上手にバランスのとれた字にはならず、講師のご指導をいただきながら、参加者は新鮮な気持ちで挑み、すこく集中し、真剣に取り組んでいました。

次に、日常生活の中で一番実用な機会がある冠婚葬祭の表書きを学びました。自分の名前や住所も、たくさん練習しました。

近年は、パソコンの普及や携帯電話のメールやライン等での連絡は全て活字体で、今、手書きの筆文字が改めて見直されています。手書きの文字は、書いた人の誠意やあたたかさや親しみを伝えることができます。

最後は、「すこく良い機会だった!」「書くことが、すこく楽しかった!」「今度、のし袋には心を込めて筆書きで挑戦しよう!」と笑顔で、充実した時間が過ごせたようです。



# JA十勝地区 女性協議会研修会

とき：12月10～11日  
ところ：幕別温泉グランヴィリオホテル

12月10日から11日の日程で、十勝幕別温泉グランヴィリオホテルでJA十勝地区女性協議会主催の研修会が開催され、十勝の女性部員や関係者約180名が集まり、当女性部（西山幸子部長）より6名が参加しました。

1日目の最初の研修は、『女性南極料理隊員が教える!「極限の栄養管理」と題して、調理師・第57次南極地域観測隊調理隊員 渡貫淳子氏による講演がありました。平均気温マイナス10.4の基地。『糧を運べるのは年に1度』『生野菜の不足』『水の節約』『ごみの制約』『排水の制約』がある中で調理について学習しました。食材と環境を大切に、無理なく楽しく食品ロス削減に取り組み、『悪魔のおにぎり』はここで生まれたそうです。あらためて、食品ロスについて考えさせられました。

2日目の研修は、JA北海道中央会帯広支所支所長 山本和男氏による『みんなで学ぼう農政学習塾!』と題して、農政運動についてお話があり、農政運動クイズや東野ひできクイズで楽しみながら、1日目の研修を終えました。

2日目の研修では、『避難所ゲーム「D.Oはぐ」をやってみよう!』が行われました。このゲームは、避難所の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所が起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。災害の多い近年で、被災地となる地域では当然全員が被災者となります。参加者は、避難所を冷静な判断で運営する難しさを実感したようでした。



# JA女性部 第3回 ミドル層研修会

とき：12月2日  
ところ：本所 大会議室

JA女性部（西山幸子部長）は、12月2日に第3回ミドル層研修会『SDGカルタ大会』を行い、同会員7名が参加しました。

SDGsへの取組は、JA北海道女性協議会でも活動計画として盛り込まれています。遊びながら、自然とSDGsを分かりやすく伝える資料として、昨年『JA女性組織フレッシュユミズSDGsかるた』が作成されました。全国のフレミズメンバーが考えた文章や手書きの絵が描かれています。

参加者は、文章を耳にして「SDGsにはそんなこともあるんだね!」とカルタを通して学んだり、カルタを目にして「上手な絵!」などに関心したりしながらも、白熱した対戦を行いました。

今回は、お菓子も用意し座談会も兼ねながらの開催だったので、参加者は楽しく、有意義な時間となったようです。



SDGs と JA グループの取組について

JA グループ URL <https://life.ja-group.jp/>

↓ SDGs と JA グループ

↓ 取組方針

# J A女性部フレミズ 西部ブロック交流会

とき：11月14日  
ところ：新得町保健福祉センターなごみ

11月14日、フレッシュユミズ部会 西部ブロック交流会が新得町で開催され、当J A女性部フレッシュユミズ部会（加納 亜沙美会長）から4名が参加しました。当交流会は、4部会（JA十勝清水町、JAめぐろ、JA鹿追町、JA新得町）のフレミズ部員の親睦を深めることを目的に開催されています。

平成21年から始まり、今年度で12回目の開催となる今回はJA新得町女性部よつ葉会主催で調理交流会を行い、ビーフシチュー・サーモンと新玉ねぎのカルパッチョ・長芋のおつまみ・生ハムトマトのピンチョス・パン・ティラミスを作りました。

当日は、参加者が交流しやすいように部会の垣根を越えて決められた班に分かれて活動を行いました。自己紹介ののち、それぞれの担当を話し合い、各班ごとに5品目を協力して調理しました。調理が終了した後は班ごとに作った料理を食べながら交流しました。

普段はなかなか交流することのできない仲間と仕事や家事・育児などの話で盛り上がり、交流を楽しまれました。



# J A女性部フレミズ 第1回冬期研修会 & クリスマス会

とき：12月10日  
ところ：本所 大会議室

12月10日、JA女性部フレッシュユミズ部会（加納 亜沙美会長）は、第1回冬期研修会&クリスマス会を開催し、同会員15名が参加しました。

研修会では、郡谷淑江様を講師に招き、トルコキャンドルホルダー作りを行いました。郡谷氏からは、「材料は本場トルコから取り寄せています。配置・色など、ルールはありませんので、あなただけの作品づくりを楽しんで下さい。」と挨拶がありました。

まずは、いくつかあるパターンの中から好みの色と柄を選び、台紙の上にガラスを並べていきます。次にキャンドルホルダーへ並べたガラスを順番に貼り付けて行きます。最後に、貼り付けたガラスの隙間にビーズを貼り付けて押し固めます。作成した作品は郡谷氏に石膏してもらった後、女性部まつりに展示されます。

作り終えた参加者は、「出来上がりが楽しみ！」「早くキャンドル灯してみたい！」「世界にひとつだけの作品づくりを楽しんでいる様子でした。」

研修会終了後にはクリスマス会を開催し、ごはん屋ゆめあとのクリスマス仕様の素敵なお弁当を食べながらお楽しみ抽選会を行いました。自己紹介タイムでは、「来年も育児・家事・仕事、頑張ります！」など一年の目標や近況報告で盛り上がりました。素敵な作品づくりと美味しい料理、仲間たちとの交流に充実した時間となったようです。



# J A女性部フレミズ フレミズ交流集会

とき：11月21日  
ところ：農協連ビル

11月21日、JA十勝地区女性協議会フレッシュユミズ部会フレミズ交流集会が開催され、当JA女性部フレッシュユミズ部会（加納 亜沙美会長）から3名が参加し、十勝管内から総勢100名が集まりました。当日は、単組の垣根を越えて構成されたチーム対抗のレクリエーション大会が行われました。

午前の部では、十勝フレミズ太田部会長にまつわる『太田王クイズ』、傘を逆さまにして行う『傘玉入れ』、箱の中身当て↓ピンポン玉運び↓豆移し↓借り物競争↓風船割りの5種目で競う『なんでもリレー』を行いました。午後の部では、制限時間内にお題を描き、よりプロフェッショナルな絵とより独特な絵を決める『お絵描き選手権』、新聞紙を使ってタワーを作り、その高さを競う『新聞紙タワー』を行いました。初めて交流する方がほとんどの中、チームで協力して競技を進めていくことで次第に団結力が芽生え、当フレミズ部員のいるチームはなんでもリレー・お絵描き選手権・新聞紙タワーで1位を獲得し、総合優勝に輝きました。



# JA女性部むらさき会 第2回研修会

とき..11月8日  
ところ..本所 大会議室

JA女性部むらさき会（広井香代子会長）は11月8日に農協本所にて第2回研修会を行い、同会員13名が参加しました。

午前中は、けんざんやオアシスを使用した『生け花』・『フラワーアレンジメント』を行いました。会員からの絶大な好評をいただき、毎年恒例となった『お花』の企画。今回も平野真実氏を講師としてお迎えし、研修会をスタートしました。今回は農協華道部の後藤職員にもお手伝い頂きながら、思い思いの作品を制作しました。「このお花をここに生けようと思うのですが、どうでしょうか?」と積極的に質問をするなど、真剣にお花と向き合う姿が見られました。

午後は、『ペットボトルボウリング』を行いました。各チームで様々な投法を編み出して高得点を狙い、時にハイタッチをして喜びを分かち合う様子が見られました。

次に、頭の体操として文字を並び替えて単語を作る『シャッフル文字』を行いました。2チームに分かれて対戦形式で行われたこの企画ではどちらも勝ちを譲らぬ互角の戦いとなりました。

午後の各種目を終えると、拍手で互いの健闘を讃え合って研修会を締め括られました。「すごく楽しかったね」と会話する様子が見られ、『お花』と『ペットボトルボウリング』『シャッフル文字』で心も身体もリフレッシュできた様です。



# JA女性部むらさき会 新年会

とき..1月7日  
ところ..韋駄天

JA女性部むらさき会（広井香代子会長）は、1月7日に韋駄天にて新年会を開催し、同会員14名が参加しました。

新年が明けてから最初の集まり。前日の降雪に道路状況を心配していましたが、当日は天候に恵まれ、無事に新年会を開催することが出来ました。

おいしいお料理を頂きながら今年の抱負を語り合い、会員同士の親睦を深めました。また、毎年恒例のビンゴゲーム大会では、景品をかけて大いに盛り上がりました。健康で平穏な一年を願い、新年会を締め括りました。



# JAそよかぜの会 新年会

とき..1月16日  
ところ..韋駄天

1月16日、そよかぜの会（武田静江会長）は、韋駄天にて新年会を開催し、会員15名が参加しました。

武田会長からは、「2年間会長として様々な活動を企画・運営してきました。会員皆様の力強い協力があったので2年間でした。今年も、元気に健康にボランティア活動を行っていきましょう」と挨拶がありました。美味しい料理をいただきながら、昨年行った勉強会や研修会、ボランティア活動振り返り、学んだことや挑戦したいことについて話し合いました。



# 第16回JPO1まつり inチカホ

とき..11月21~22日  
ところ..札幌駅前通地下歩行空間

11月21日から22日の両日に渡り、札幌駅前通地下歩行空間（通称チカホ）にて、第16回秋のJPO1まつりinチカホが開催されました。

当JAは、『第1弾道内各地の秋・冬の観光情報、おいしい物産品が目白押し!』にブース出店し、当JAブランドの『十勝若牛』を使用したカレーや『十勝清水にんにく』を使用した調味料などを販売しました。また、大人気イベントの『にんにくお玉すくい』も行いました。

多くの方に当JAの商品を手にとっていただき、清水町の豊富で美味しい農畜産物をアピールすることができました。



## J A青年部 管外視察研修

とき：11月27～28日  
ところ：札幌・北広島方面

11月27日、28日の両日に渡って、J A青年部（鈴木堅士郎部長）は、札幌・北広島方面への管外視察研修を開催しました。冷たい風が吹く寒空の中でもありましたが、20名の青年部員が参加しました。

まずは、1つ目の視察先である福山醸造（株）へ向かい、大豆・小麦・糀などを原料とした醤油の製造工程について学び、工場内を見学しました。普段見る事の無い光景を前に、興味津々で視察を行いました。

2つ目の視察先である（株）アミノアップでは、日照不足や降雨不足などの非生物的ストレスに対する液肥を活用した農作物への効果について、馬鈴薯やデントコーンでの事例説明があり、皆真剣に聞き入り、自らの営農に活かそうとしている様子が見られました。

2日目は、三井アウトレットパーク産直市場を訪れ、道内各地の加工食品を視察しました。

帰りのバス内でも研修先で学んだことを話し合う様子が散見され、有意義かつ満足した研修となりました。



## 第73回 全道J A青年部大会

とき：12月5～6日  
ところ：札幌パークホテル

12月5日から6日の2日間に渡り、第73回全道J A青年部大会が開催され、当青年部（鈴木堅士郎部長）からは8名が参加しました。

1日目の学習会では、家の光協会副局長魚谷昌宏氏から『J A青年組織が農政活動をする理由』と題し、雑誌『地上』を用いて、人の考え方の多様性を伝えるオリジナリティ溢れる講演で皆興味深く聞き入っていました。また、全道J A青年の主張大会、全道J A青年部活動実績発表大会が開催されるなど、大会は大いに盛り上がりを見せました。

その後の全体懇親会にてアームレスリング大会が開催され、当青年部からは、75kg以下級の部に堀遼太氏が出場し、他を寄せ付けない圧倒的な強さで勝ち進み、見事全道優勝を果たし、会場は熱狂の渦に包まれました。

2日目は、『世界から注目を浴びる北海道。農業はどうマーケティングをするか』と題し、オレンジバードCOOコチエフ・アレクサンダー氏による講演が行われました。ブルガリア出身であることを活かした独自の視点で、北海道農産品の海外向け情報発信方法など、普段聞くことのできない講演内容で、参加者は集中して聞いていました。

大会の最後には、『日本の食料基地北海道の生産者としての自覚を高め、これからは国民に豊かな食を提供し続けていく』という大会宣言を決議し、大会は幕を閉じました。



## J Aそよかぜの会 出前講座勉強会

とき：11月13日  
ところ：本所 大会議室

11月13日、J Aそよかぜの会（武田静江会長）は、帯広厚生病院の理学療法士宮崎啓史氏を講師に迎え、『転倒予防から考える運動のススメ』の勉強会を開催し、同会員10名が参加しました。

前半は、『身体面における転倒予防の理解を深め、明日からできることを実践』をテーマに転倒や骨折が及ぼす影響・なぜ年を重ねると転倒しやすくなるのか・生活環境と転倒・運動の重要性について学習しました。

後半は、加齢による感覚の誤差を測る簡単な運動テストや身体能力が低下した状態を測定するロコモ度テスト、座ってできる運動を行い、実践を通して運動の大切さを学習しました。

90分の講義はあっという間に終了し、質疑応答へと移りました。参加者は、「高齢者にとって過度な運動はどのくらいなのか？」「筋トレのしすぎはどんなことが起きるのか？」など積極的に質問されました。

講義終了後は、お弁当を食べながら勉強会で学んだことを振り返り、意見交換するなど有意義な勉強会となりました。



## J Aそよかぜの会 ボランティア研修会

とき：12月11日  
ところ：清水町農業研修会館

12月11日、J Aそよかぜの会（武田静江会長）は、清水町農業研修会館にてボランティア研修会を開催し、同会員10名が参加しました。

研修会では、清水町体育協会 中島啓治氏を講師に迎えモルックを行いました。まずは、ルールや試合の進め方を勉強し、次に3チームに分かれて団体戦を行いました。

初めのうちは、なかなか打球がうまくいかず苦戦しているようでしたが、徐々にコツを掴んできたようで、狙い通りの打球ができた際には、チームでハイタッチして喜ぶ様子が見られました。また、「〇点狙ったら、ピツタリ50点になるよ！」「今回〇点狙って、次〇点狙おう！」などチームで話し合いながらモルックを楽しんでいる様子でした。

研修会終了後は、ゆめあとむにて昼食をいただきながら、モルックでの出来事や近況報告などを話し、そよかぜの会の仲間たちと交流し、身体も心もリフレッシュすることができたようです。



# 第31回 JA北海道大会

とき：11月20日  
ところ：札幌コンベンションセンター

11月20日、第31回JA北海道大会が札幌コンベンションセンターにて開催され、全道から組合員やJA、連合会などオンライン参加も含めて約3,000人が出席し、当JAからは今野代表理事組合長をはじめとする役員や青年部、女性部合わせて21名が出席しました。

この大会は、組織・事業の強化を図るべく、3年毎に各組織のリーダーが一堂に会して、組合員・JA等の十分な討議を通じて策定したJAグループ北海道の基本方針を確認することを目的として開催されています。

大会は、樽井功大会実行委員長（北海道農業協同組合中央会代表理事会長）に続き、来賓の鈴木直道北海道知事の挨拶により始まりました。

議案審議では、『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』をメインテーマに『食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立』、『JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立』、『アグリアクションによる農業・食・JAへの理解醸成』に取り組み、実現させていくことが決議されました。

また、大会に先立ち、東京農業大学総合研究所特命教授で元農林水産事務次官の末松広行氏による『新たな食料・農業・農村基本法における北海道農業の目指すべき方向』と題した記念講演が行われました。



## 理事会の動き

第10回 1月28日開催

### ○付議事項

- 令和6年度 第3四半期仮決算
- 令和7年度 理事の報酬（案）
- 出資金の一部譲渡

### ○協議事項

- 西十勝農業センター再編

### ○報告事項

- 会計監査人の再任及び報酬額に関する同意
- 令和6年度 内部監査実施報告書
- 組合員の加入及び脱退
- 組合と理事との利益相反取引に関する実績報告書
- 固定資産取得完了及び除却完了報告（管理課GHP）
- 固定資産取得完了（支所管理金融オープン出納機）
- 令和6年度 第3四半期 余剰金の運用状況
- 令和6年度 第3四半期 コンプライアンス事故概要報告
- 令和6年度 第3四半期 反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告
- 令和6年度 第1四半期 JAバンク・共済苦情等対応状況報告
- 令和6年度 年にく共計販売状況
- 令和6年度 食用・加工馬鈴薯共計販売状況
- 畑作青果対策委員会の報告
- 生乳出荷、乳質状況
- (株) 十勝清水フードサービス第3四半期仮決算
- (株) 清水町農業サポートセンター第3四半期仮決算

十勝清水

## お世話になりました

ご指導いただきありがとうございました。  
組合員の皆様の  
今後の発展とご健勝をお祈りしています。

令和6年12月31日付

畜産部 畜産生産課 係

羽馬 香澄

## JA職員の人事発令について

令和7年1月1日付け職員の人事発令を、以下のとおり行いました。

試用職員から本採用「総合職」

金融部 信用貯金課 係

吉田 安那

## JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

### 第5回「参議院選挙の仕組み」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そして、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。参議院選挙では、各都道府県を区域とする「選挙区選挙」と、全国一つの単位とする「比例代表選挙」の2つの選挙制度で成り立っています。「選挙区」は、北海道から立候補している候補者名を書いて投票します。「比例代表」は、全国から立候補している「候補者名」または「政党名」を書いて投票します。この「比例代表」は非拘束名簿方式といって、政党の得票数に応じて議席が配分された後、その政党の中で個人名の得票数が多い順に当選が決まる仕組みとなっています。



つまり、「比例代表」の投票用紙に「候補者名」を記入しないと応援したい候補者に票は入らない仕組みとなっています。「比例代表」には、さまざまな業界や団体が代表候補を送り出しています。多くの得票数を獲得し、当選順位を上げるよう活動しております。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。言い換えると、得票数で、我々JAグループの力が測られていることになります。国会（政治）は数が多いです。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立ち多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来夏頃まで連載いたします。次回(第6回)は、後援会の活動経過について報告します。



東野ひでき北海道後援会

## JA北海道大会

↓ 議案冊子 ↓ 記念講演資料



JA北海道農業協同組合中央会第31回北海道大会  
URL <https://ja-dosanko.jp/profile/index.php>

大会動画については、YouTubeの「JA北海道中央会」チャンネルにてご覧頂けます。

↓ 大会の様子 ↓ 記念講演の様子



大会 URL <https://youtu.be/wV028rZXqNc>  
記念講演 URL <https://youtu.be/Vd3v5KPw8Kk>



正組合員様へご紹介!!

# サツドラ地域連携企業 『特別優待割引』

サツドラより、福利厚生事業・地域連携事業として『特別優待割引5%』を提供いただきました。

『特別優待割引5%』は、いつでも何回でも5% OFFとなり、  
どの店舗でも利用が可能となっております。

\*ご利用範囲は、正組合員とその同居家族及び農協役職員です。

\*年度更新がありますので、1年毎にQRコードの読み込みが必要です。

※毎年4月に再度発行される専用QRコードの読み込みが必要です

\*他のクーポン併用に関しては、サツドラへ照会ください。

\*アプリ導入、その他制度についてはサツドラへ照会ください。

ご利用方法は  
簡単!

## STEP 1

EZOCA を発行

## STEP 2

サツドラアプリを  
ダウンロード

## STEP 3

サツドラアプリに  
EZOCA 番号を連携

## STEP 4

『特別優待割引』QRコードを読み込み  
クーポンを GET

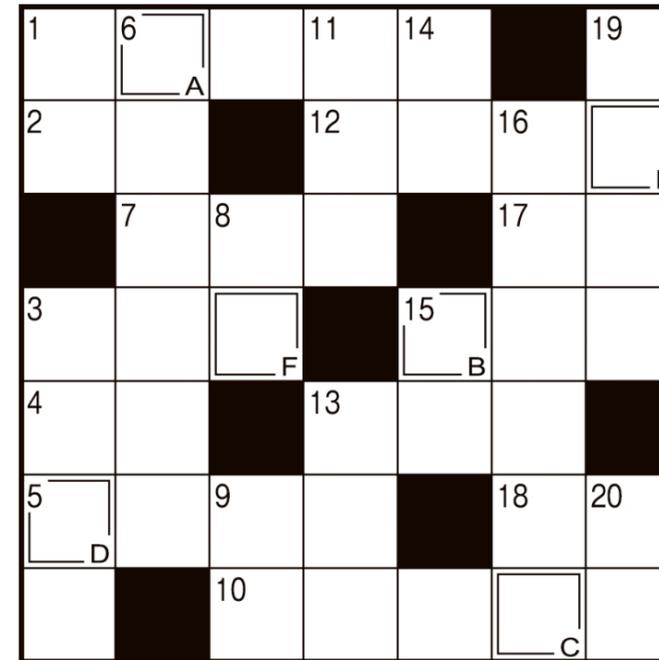
※ QRコードは、本所組勘窓口・管理課・御影支所に  
ございます。

## STEP 5

レジでクーポンを  
提示して  
お買い物する

この優待は、正組合員とその同居家族及び農協役職員に限ります。  
正組合員限定の割引であるため広域周知ができません。  
大変お手数ですが、QRコード読み取りは上記場所まで  
お願いいたします。

お問い合わせ先 JA 十勝清水町 管理課  
TEL : 0156-62-2161



クイズの答えを解答用紙に記入し、FAX送信するか直接JAにご持参ください。正解者の中から抽選で5名の方に記念品を差し上げます。ご応募お待ちしております。(締切2月25日)

合併号 (No.386) の答え  
A B C D E  
「ゲイシュン」



### → ヨコのカギ

- 2月14日に職場などで配る人もいます
- リンゴの品種。青森県北東部に同じ名前の市があります
- 天気が崩れて——が強まった
- 寒い日にはこりやすくなる人も
- 節分にイワシの頭を刺して飾ります
- 紅茶の茶葉とお湯を入れます
- 熱心に後輩を指導する、——のよい先輩
- 看護師——ともいうナースステーション
- 和歌山県には奈良県と三重県に囲まれた——があります
- 不利の反対語
- 古代インド発祥のエクササイズ
- じゅうたんを敷く所

### ↓ タテのカギ

- 教育・勤労・納税は国民の三大——です
- 気仙沼の名物、サメの加工品
- さいころや角砂糖はこの形
- 封書を数えるときに使う言葉
- キラキラ光る——入りのセーター
- 風を受けて水上を進みます
- 地銀よりも規模が大きめ
- といて炊きます
- 水で洗い物をするとかじかむことも
- 多くが九州で作られている酒
- こ、これぐらい平気だい!
- チョコがはさみならパーは

表紙の写真は ....



今月の表紙は『剣山と雪』の写真です。  
冬期間、路面は日中溶けた雪が日没とともに凍り、低速であっても車両の制御が困難になることがあります。また、日中でも日陰などでは凍っていることがあります。路面条件に配慮した安全運転を心がけましょう。

### 合併号 (No. 386) あたまの体操 当選者発表

当選者は 上清水 2 佐藤 団さん 下佐幌平和 堀 勝利さん  
下美蔓 2 村中 悟さん 下佐幌北栄 森 美月さん  
人舞 5 大口 欣也さん の5名です。

おめでとうございます。 十勝 清水



## 今月の「職員紹介」



たにうち あんじ  
谷内 安慈 職員

### 最近の出来事

ちょっといい枕を買いました

#### ◆所属部署・担当業務

畜産部 畜産生産課 人工授精担当

#### ◆趣味

筋トレ・ゲーム・サッカー

#### ◆自分はこんな人です

マイペースで楽観的な性格

#### ◆上司からの一言（番匠 一哉課長補佐より）

令和6年4月に入組し家畜人工授精業務を担当しております。

人見知りな性格で物静かです。人工授精業務についてですが、とても筋がよく、精液の注入については2カ月を過ぎたころには出来るようになっていました。現在はシフトに入って一人前として仕事しております。

技術職は常に向上する意識を持っていなければ、技術の向上もありません。成果が見えやすい職業でもありますが、同様に失敗も見えやすい・・・しかしながら、失敗は更なる技術向上へのヒントです。成功は喜びからやりがいを見出すチャンスです。すべての経験がいい方に向かうよう日々業務に当たってください。

授精職員一丸となり、みんなで頑張っていきましょう！

来月の「職員紹介」は長屋 智成 職員です。

十勝  
清水

## 今月のメニュー

おいしいミルクレシピ

身体に優しい♪簡単なのに激うま♪

### 和風ミルフィーユ牛乳鍋



レシピ提供 一般社団法人Jミルク  
「ミルクレシピ」

### 材料（1人分）

豚バラ薄切り肉	10枚
白菜	5枚
牛乳	300ml
A 白だし	大さじ1～お好みで
醤油	小さじ1～お好みで
削り節	適宜
青ねぎ（小口切り）	適宜
いりごま（白）	適宜

### 作り方

- ①白菜の上に、豚バラ薄切り肉2枚の端が少し重なるように並べ、順に重ねて6等分に切る。
- ②①を断面が上になるように鍋のふちに添って敷き詰める。※余った白菜は隙間に詰める。
- ③ボウルにAを入れて混ぜ合わせ、鍋に入れる。  
お好みで削り節、青ねぎ（小口切り）、いりごま（白）を散らし、中火にかける。沸騰したら弱火にし、蓋をして全体的に火が通るまで5分ほど煮込む。